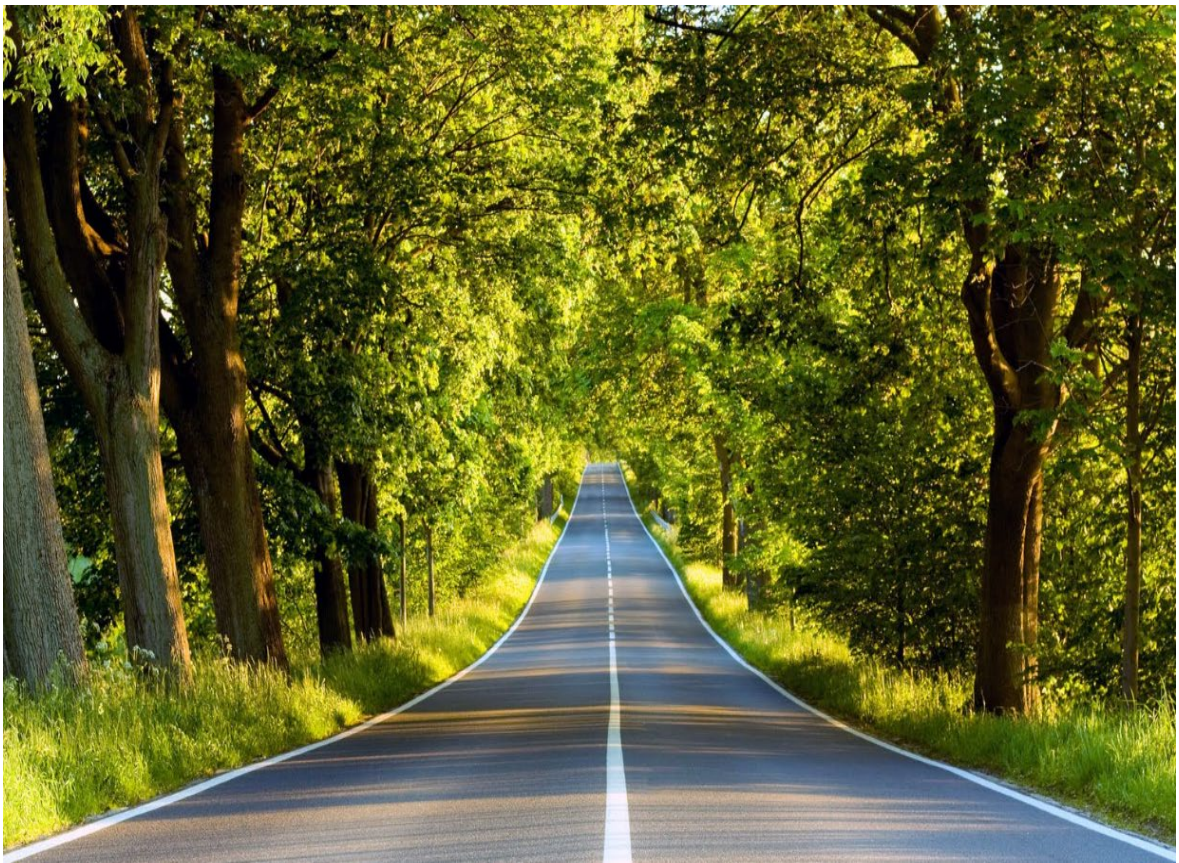


エコアクション21

環境経営レポート

2024 年 度

《活動期間》 2024年1月～12月



《発行日》

2025 年 3 月 25 日



鹿島興産株式会社

目 次

1. 組織の概要	..P1
2. 環境経営方針	..P2
3. 実施体制	..P3
4. 環境経営目標	..P4
5. 環境経営計画	..P5
6. 環境経営目標の実績・取組結果とその評価	..P6
7.1 環境経営活動の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の 環境経営目標及び環境経営計画（1） 事務所	..P7
7.2 環境経営活動の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の 環境経営目標及び環境経営計画（2） 事務所	..P8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	..P9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	..P9
10. 当社における環境配慮の取組内容	..P10

1. 組織の概要

1) 事業者名 鹿島興産株式会社 創立: 1973年4月

代表者氏名 代表取締役 川崎 年英

2) 事業所及び所在地

<本社>

〒849-1304 佐賀県鹿島市大字中村1602-4

<倉庫>

〒849-1304 佐賀県鹿島市大字中村1591-3

<塩田営業所>

〒849-1402 佐賀県嬉野市塩田町久間乙2265

3) 環境管理責任者 工事部: 川崎 年英

環境管理担当者 経理・総務部: 川崎 綾

担当者連絡先 TEL: 0954-63-1615 FAX: 0954-63-1614
Eメールアドレス: kashimakousan@snow.ocn.ne.jp

4) 事業内容

- 一般建設業 許可番号: 佐賀県知事 許可(般-3)第1534号
 - ・許可の有効期限 令和3年10月5日～令和8年10月4日
 - ・建設業の種類: 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、

○運送業 九運自第1570号
事業者番号 940000435 許可日平成12年8月25日

5) 事業規模 2024年度

売上高: 271百万円

従業員数: 17名

	本社	本社倉庫	塩田営業所
従業員	14人	—	3人
敷地面積	570m ²	530m ²	4,300m ²
延床面積	168m ²	—	243.7m ²

6) 事業年度 7月～翌年6月

7) 認証・登録の範囲

当社は全組織・全活動を認証・登録対象範囲としています。

対象範囲 本社、倉庫、塩田営業所

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

鹿島興産株式会社は、建設工事を通じて、社会に貢献するとともに「人と地球にやさしく 子供たちによりよい未来を！」をモットーに全社員が理解し、自主的・積極的に環境保全・汚染の予防の取り組みを行い、継続的に改善していくための活動に努めます。

1. 次の項目を重点項目として取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量（電気・重油・軽油・LPガス）の削減に努めます。
- (2) 産業廃棄物及び一般廃棄物の排出量削減、リサイクルを推進します。
- (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の適正な管理に努めます。
- (5) 環境配慮活動の推進をします。
- (6) グリーン購入を推進します。
- (7) 地域貢献活動を推進します。

2. 関係する環境関連法規等を遵守します。

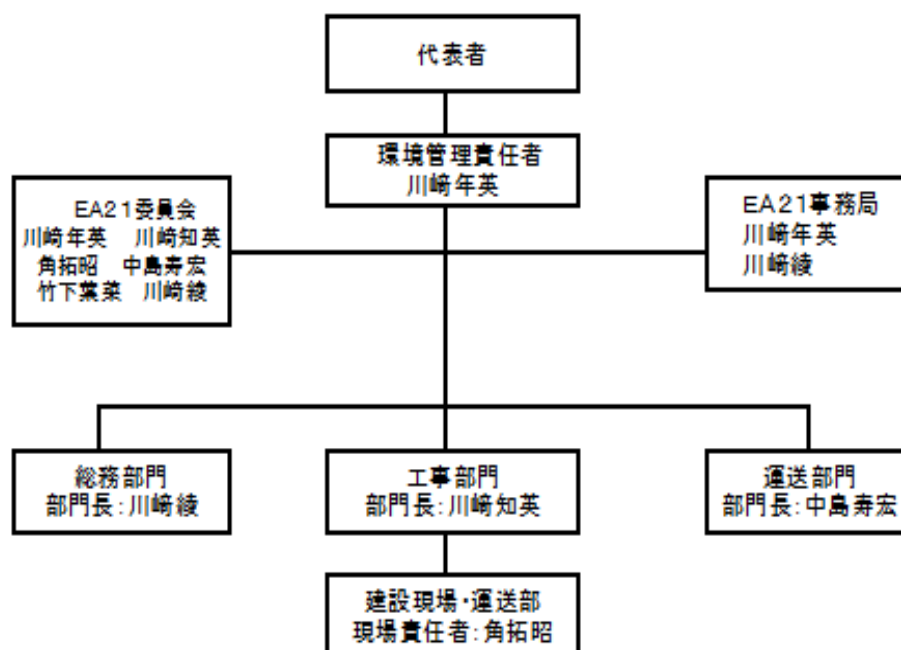
改定日 2025年1月7日

鹿島興産株式会社

代表取締役

川崎 年英

3. 実施体制



役割分担表

所 属	
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・環境目標、環境活動計画を作成する。 ・3か月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・3か月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境経営目標（2024年度～2027年度）

（年度は1月から12月）

			基準年	年度目標							
環境	サイト 区分	単位	2023年度実績（2023年1月～2023年12月）	2024年度		2025年度		2026年度		2027年度	
				削減率	目標	削減率	目標	削減率	目標	削減率	目標
二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	98,903	1%	97,914	2%	96,925	3%	95,936	4%	94,947
電気使用量の削減	事務所	kWh	7,862	1%	7,783	2%	7,705	3%	7,626	4%	7,548
L P G使用量の削減	現場	kg	1,420	1%	1,406	2%	1,392	3%	1,377	4%	1,363
軽油使用量の削減	現場	L	33,436	1%	34,677	2%	32,767	3%	32,433	4%	32,099
一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	67	1%	66	2%	66	3%	65	4%	64
産業廃棄物のリサイクル率	現場		100%	100%		100%		100%		100%	
水使用量の削減	事務所	m ³	63	1%	62.4	2%	61.7	3%	61.1	4%	60.5
化学物質の適正管理	現場	—	小出しの際 保護具の着用遵守	遵守		遵守		遵守		遵守	
グリーン購入	事務所	品目数	20	20		21		22		23	
環境配慮の推進	現場	件/年	20	21		22		23		24	
地域貢献活動の推進	全社	回/年	15	16		17		18		19	

* ガソリンは使用量が少ない（軽油の3%程度）。使用量のバラツキもあり、目標設定せず削減活動に努める。
唯し全社の二酸化炭素排出量には計上する。

* 購入電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の2019年度の調整後排出係数 **0.370 kg/kWh** を用いて算定した。

5. 環境経営計画（2024年度～2027年度）

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組項目		責任者	達成手段		担当者	スケジュール
1	電気使用量の削減	川崎綾	1	エアコン設定温度管理を徹底する	川崎綾	利用時
			2	エアコンの簡易点検を実施する		1ヶ月1回
			3	不要な照明の消灯を徹底する、LED照明器具への変更		年間を通して
			4	パソコン、コピー機等は、省電力設定にする		
			5	夜間・休日は、パソコン、プリンターの主電源を切る	川崎知	
2	軽油・重油使用量の削減	川崎年	1	エコドライブの推進、アイドリング削減	川崎知	年間を通して
			2	定期的な自主点検、施工前点検の施工	宮崎	
			3	過積載が行われないように徹底する	川崎知	
			4	運搬経路など無駄や無理のない運転をする		
3	LPガス使用量の削減	川崎年	1	現場での合材発注時間の調整・管理	川崎知	打合せ時
			2	効率的な工事施工（舗装）		作業時
			3	合材の適正な温度管理		

2. 廃棄物排出量の削減

取組項目		責任者	達成手段	担当者	スケジュール
1	一般廃棄物 排出量の削減	川崎綾	1 社内文書は裏紙使用の徹底、ポスターでの呼びかけ	川崎綾	年間を通して
			2 ミスプリントをなくすためプレビューでの確認の徹底		
			3 廃棄物分別の徹底、ごみパトロールの実施		
			4 印刷の必要性の確認と共有フォルダの有効活用		
2	産業廃棄物 排出量の削減	川崎年	1 廃棄物の分別の徹底、ごみパトロールの実施	竹下	年間を通して
			2 リサイクル推進		
			3 産廃マニフェストの発行、適正な管理、保管	川崎知	
			4 計画的な資材の購入、管理、事前準備の徹底		

3. 水使用量の削減

取組項目	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
1 節水活動	川崎綾	1 手洗い時、洗い物において日常的に節水を励行	川崎知	年間を通して
		2 洗車は必要最小限にし、ホースにストッパーをつける		
		3 舗装工事の散水用は、排水路の水や雨水を使用する		
		4 節水を励行（会議時などに声掛け、ポスターの掲示など）		

4. 化学物質使用量の削減（又は適正管理）

取組項目		責任者	達成手段		担当者	スケジュール
1	化学物質の適正な使用と管理	川崎年	1	化学物質の使用状況の調査、小出しの管理	角	年間を通して
			2	化学物質の適正な管理		
			3	SDS（安全データシート）の入手	川崎知	
			4	保護具使用の遵守		

5. 事業活動における環境配慮活動の推進

取組項目		責任者	達成手段	担当者	スケジュール
1	グリーン購入促進	川崎綾	1 事務用品などは優先的に購入する	竹下	年間通じて
			2 可能な限り再生資材を使う	川崎知	
			3 エコマーク商品を使用する	竹下	
			4 カタログのマークを参照し、購入商品の検討		
2	環境に配慮した施工	川崎知	1 環境配慮型機械（騒音、振動）を使用する	川崎知	工事打合せ時
			2 環境に配慮した（騒音）工事の施工		適宜
			3 過積載の防止		
			4 民家付近での徐行、早めのライト点灯		

6. 地域貢献活動の推進

取組項目	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
1 地域貢献活動の推進	川崎年	1 地域の清掃活動への参加や防災活動への協賛	川崎知	必要時
		2 事務所周りの除草、清掃活動をする		毎月1回
		3 ひとつかみ運動の継続		毎日
		4 現場周辺の清掃活動		現場終了時
		5 地域の見守り活動への参加（下校時）	川崎綾	下校時
2 地域へのアピール	川崎年	1 環境経営の取組をしていることのアピールをする	川崎綾	適宜、月に1回以上
		2 ホームページやSNSを利用したPRをする		
		3 エコアクション、SDGs についての理解を深める		
		4 実際の取組について発信していく		

6. 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

項目	単位	基準年	2024年度			
		2023年度実績	活動期間(2024年1月～2024年12月)			
			目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	98,903	97,914	104,657	94%	×
電気使用量の削減 (1%削減)	kWh	7,862	7,783	11,969	65%	×
LPG使用量の削減 (1%削減)	kg	1,420	1,406	1,520	93%	×
軽油使用量の削減 (1%削減)	L	33,436	33,102	35,715	93%	×
一般廃棄物排出量削減 (1%削減)	kg	67	66.0	80	83%	×
産業廃棄物のリサイクル率	%	100%	100%	100%	100%	○
水使用量の削減 (1%削減)	m³	63	62.4	81	77%	×
化学物質の適正管理		保護具の 使用遵守	遵守	遵守	100%	○
グリーン購入	品目	25	20	27	135%	○
環境配慮活動の推進	件	20	20	20	100%	○
地域貢献活動の推進	回/年	15	16	12	75%	×

※: 達成率(%) = 目標 / 実績

備考: 判定 ○: 98%以上 △: 95%以上～98%未満 × 95%未満

7. 1 環境経営活動の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
電気使用量の削減	×	・エアコン設定温度管理の徹底 ・不要照明の消灯 ・OA機器の省電力設定 ・エアコンの簡易点検	目標は達成できなかった。 エアコンの温度に関しては、温湿度計をチェックし、管理することはできている。 冬場の防寒対策について、ひざ掛けや厚手のレッグウォーマーなど使用し、取り組みはできていた。引き続きおこなっていく。
軽油使用量の削減	×	・アイドリングストップ ・エコドライブの推進 ・過積載の厳禁徹底 ・自主点検、施工前点検の実施	目標達成できなかった。工事件数や場所によっても変動はあるが、工事待機時のアイドリングストップなどもこころがけ、今後も効率の良い適正な運転をし、現場全体で削減するという意識を持ち継続してつとめる。
LPG使用量の削減	×	・効率的な工事施工(舗装工事) ・現場での合材発注時間の調整・管理 ・合材の適正な温度管理	目標は達成できなかった。 気温や工事の進捗、工事件数の増加があった。 今後、現場職長の意識の向上と責任管理、手順の確認、工事状況の把握と材料発注の時間調整について引き続き、教育、指導をおこなっていく。

(2) 廃棄物排出量の削減

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
一般廃棄物排出量の削減	×	・裏紙使用の徹底 ・廃棄物分別の徹底 ・ミสปrintの削減とプレビューでの確認 ・ごみパトロールの実施	目標は達成できなかった。 事務所でのごみの分別はできているが、フィリピン研修生にも理解してもらえように周知徹底と削減に向けた改善策(ひとつかみ運動)の実行と徹底をしていく。また、従業員一人一人のごみ削減への意識を高めていくため声掛けを行う。
産業廃棄物排出量の削減(サイクル率の向上・維持)	○	・廃棄物分別の徹底 ・リサイクル推進 ・産廃manifestの発行、適正な管理 ・計画的な資材の購入	産業廃棄物のリサイクル率はほぼ100%を維持できた manifestの管理はできている。 現場でのゴミの分別が未だ徹底できていない点も見受られたため、管理者による監視と現場作業員への教育と周知の徹底をおこなっていく。

(3) 水使用量の削減

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
節水活動	×	・節水の励行 ・洗車は必要時、ストッパーをつけて行う ・舗装工事の散水用は雨水が排水路の水を使用する	目標は達成できなかった。 ポスターなどで呼びかけるとともに、高圧洗浄機を使用し、節水に心掛け、ストッパーをつけて洗車したり、こまめに止めるなどひとりひとりできることをおこなっていく。 雨水をうまく利用していけるように、考えていく。

7.2 環境経営活動の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(4) 化学物質使用の適正管理

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
化学物質の適正な使用と管理	○	・使用状況の調査 ・適正な管理 ・SDS(安全データシート)の入手 ・最新情報の収集と情報の共有	化学物質の適正管理ができていた アスファルト乳剤、コンクリート接着剤においては適正に管理、使用されていた。 管理者だけでなく、現場作業員にも勉強会などで理解を深めていく。 手順書を作成し、保護具の着用の遵守ができた。

(5) 事業活動における環境配慮活動の推進

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
グリーン購入促進	○	・事務用品などは優先的に購入する ・エコマーク商品を使用する。 ・再生資材の使用	積極的実施購入できた。 購入時には、日頃よりエコマーク、グリーンマークを意識しているため、なるべく環境にやさしい商品の選択が出来るようになった。 買いすぎのないように適正個数を購入するように心がけることもできた。
環境配慮型機械を使用する	○	・環境配慮型機械(低騒音・低振動)を使用する ・環境に配慮した(騒音)工事を行う	工事ごとに事前に打ち合せし、環境配慮型機械を使用することができている。 機械においてはこれからも継続使用していき、運転操作時にも配慮できるように現場全体で取り組む。 現場での苦情などはなかった。

(6) 地域貢献活動の推進

取組対象	目標達成状況	活動項目	評価(次年度の計画含む)
地域貢献活動の推進	×	・ひとつかみ運動の継続 ・現場周辺の清掃活動 ・事務所周りの除草、清掃活動をする ・地域の見守り活動の参加	現場での清掃活動も毎回徹底してできている。 定期的に事務所周りの除草や清掃、また登下校時の見守り活動も行えている。 引き続き、研修生にもひとつかみ運動の定着ができるように声掛けしていく。
地域へのアピール	○	・ホームページやSNSを利用する ・エコアクション、SDGsの理解を深める ・実際の取組の発信をする	ホームページのリニューアルを行い、Instagramなどで少しずつ発信ができています。しかし、環境経営活動についての投稿が少ないので、ホームページやInstagramで活動の発信を増やしていく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に関する主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・下記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

適用される法規等	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別・保管管理、処分、マニフェストの交付、回収、保管の適正処理	適
建設リサイクル法	一定規模以上は、特定建設資材の分別解体と再資源化	適
自動車リサイクル法	使用済み自動車となったときは、引取業者に引き渡さなければならない	適
オフロード法	基準適合表示を受けた特定特殊自動車でなければ使用してはならない	適
騒音規制法	特定建設作業の届出(該当工事) 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	適
振動規制法	特定建設作業の届出(該当工事) 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	適
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、点検修理の履歴の記録、保存	適

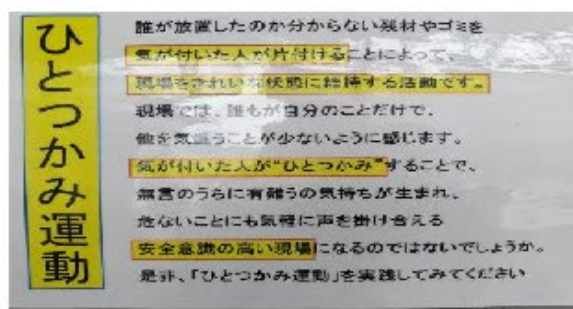
9. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

- ・今回は、削減目標に達することができなかった項目が多かった。
- 環境経営活動を始めたころに比べ、外国人研修生がきたり、従業員の入れ替わりもあり、活動内容、取り組みについて周知が低かったのではないかと思います。
- 会議においても安全第一の目標や反省が多く、環境経営活動と併合して取り組む必要性を実感した。
- 今後は、あらためて環境経営目標や、取り組みの内容の周知を徹底し、達成できるように業務に取り組んでいくようにする。
- ・環境保全の日々の小さな気づきや行いが安全意識・安全行動にもつながっていくということを指導、教育していく。

2024年3月15日
鹿島興産株式会社
代表取締役 川崎 年英

10.当社における環境配慮の取組内容

① ひとつかみ運動



気が付いた人が片付ける
現場をきれいな状態に維持する
活動です。
気が付いた人がひとつかみすることで
安全意識の高い現場になります。

② 水タンクの設置



雨水をタンクにためて
車の洗車に使用

③ 掲示板での呼びかけ



環境取り組みを
従業員に周知